

ソフトボールU18国際試合で多治見西高選手が大活躍

渡辺華奈さん(多治見西高等学校3年)、知野見桃子さん(同3年)、長友彩莉さん(同1年)がU18ソフトボール日本代表に選出され、「第15回女子U18ワールドカップグループステージ」を戦いました。グループステージで知野見さんは投手として4試合を無失点に抑え、日本チームのファイナルステージ進出に貢献しました。そこで知野見さんに試合を振り返ってもらいました。



U18の予選リーグでは4試合に登板したとのことですが、対戦相手の印象はどうか?

グループBはプエルトリコ、イタリア、オランダ、ペルー、中国、日本でした。どの国も体格が大きい選手ばかりでしたので、まずその姿に圧倒されました。正直、試合前はたくさん打たれてしまうのではないかと、内心ちょっとドキドキしました。

その不安をどうやって乗り越えて試合に臨みましたか?

今回のU18グループステージは、インターハイが終わった直後(8月中旬)の試合でした。インターハイの決勝では負けてしまって残念ながら準優勝だったのですが、そのぶん配球などで得られたことがたくさんあったので、それを活かすようにしました。

また、日本らしさ、自分らしさを大切にして、緩急を使いながら丁寧に投げました。

その結果失点0というのは素晴らしい成績でしたね。知野見さんの持ち球は何ですか?

ストレートが少し曲がってスライダー系になるので、それが一番の持ち球です。あとチェンジアップが得意なので、途中で入れ込んで相手に絞らせないようにさせます。

三振を取る時の決め球はストレートが多いですが、粘られたらチェンジアップも使います。

3月で多治見西高等学校を卒業となります。今後もソフトボールを続けますか?

はい、卒業後は大学に進学し、ソフトボールを続ける予定です。大学に入っても1年生から国際試合などで投げたいように、このシーズンオフも体作りに励み、入学したらバリバリやりたいです。



スポーツ協会だより

山岳連盟

「絶景かな陣馬形山」～R6 市民登山教室～



紅葉の時期に…と設定しましたが、最近の気候はいうことを聞いてくれません。猛暑で秋がこないまま10月になり、登山の日を迎えました。それでも、雨の心配もなく一般参

加者21名、無事に登ることができました。

今回の「陣馬形山」は、伊那路を見下ろすことができます。頂上は360度の大パノラマ、とても景色がいい山です。

参加した方のコメントを紹介します。「行程は長かったが緩やかな歩きやすいコースで無事に皆さんについていくことができてよかった」「初めての参加で朝も早く心配したが、途中でリーダーさんが歌を歌ってくれてとても楽しい一日を過ごすことができた」「時間の余裕ができたら山登りをやろうと思っていたことが実現できた。グループで登る登山の楽しさや、山頂での眺望はとても綺麗でした。登りで頑張ったご褒美ですね」毎回、こんな嬉しい感想をいただいています。

楽しく登るのはフレイル予防にもつながります。令和7年も計画しますので、みなさんのご参加を心よりお待ちしております。

ソフトボール協会

密度の濃い4時間! ～ソフトボール教室～

12月の寒空の下、総勢100人が集まるソフトボール教室を開催しました。元実業団選手の春日井夕子さん、多治見西高等学校ソフトボール部監督の上松美香子さんが講師となり、動き作りから専門技術まで、半日かけてみっちり学びました。

多治見西高等学校ソフトボール部の部員が補佐として子どもたちに寄り添いました。参加者は「とても勉強になった」「動きが難しかったができて良かった」「高校生のお姉さんは格好良かった」と満足気な面持ちでした。

今年も12月に開催を予定しています。多数のジュニア選手のご参加をお待ちしています。

